



インフルエンザによる臨時措置について

インフルエンザによる学級閉鎖等の基準は、明確に定められてはいませんが、予防上必要があるときは、臨時に学校の全部または一部の休業を行うことができます。(こども園は、学校に準じる。)

一般的には、欠席率が20%を超えると閉鎖を検討します。

5歳児のあじさい組は19人ですから、4人以上が感染して欠席した場合、5歳児全体だと8人、園全体では30人程度になります。今回月曜日の朝の段階でインフルエンザまたは風邪症状での欠席者が35人いました。また判断材料として、近隣市町や訓小の状況、拡大傾向に

あるか、沈静化に向かっているかなど、学校医とも相談して臨時を判断します。

学校と違うのは、こども園は、保護者の皆さんが、安心して子どもを預けて働くことができるための施設です。臨時にすることで、仕事を休まなければならない、どこかに預けなければならない状況が生じますので、そう簡単に臨時にするわけにはいきません。しかし、今回は、職員が11名感染したため、子どもたちの健康と安全を確保する指導体制を組むことができないと判断しました。

4日間の臨時中、保護者の皆様のご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。

インフルエンザで最低何日休むといいのか？

どんなに早く熱が下がったとしても、最低発症した後5日は、学校(園)を休んだ方がいいです。(出席停止になります)厚生労働省は、発症前日から発症後3~7日間にかけては、外出を控えることを推奨しています。まだ安心はできません。



子どもは、悪い言葉をすぐ覚えて使います



親が使っている場合、友だちの影響、一番はテレビからかもしれません。親は子どもの間違った言葉づかいを矯正する必要があります。言葉の間違いを犯さない子どもは一人もいません。子どもは単語のさまざまな組み合わせ方を試します。その組み合わせが間違っているのに、誰もそれを指摘して直さないなら、子どもはそれが正しいと誤解して使い続けてしまいます。

人を罵倒したり差別したりする不適切な表現が含まれていることがあるので要注意です。ネットでスポーツ選手への心ない書き込みをする輩も多いといいます。小さいころから、親は「そういう言葉を使ってはいけません。言うてはいけません。やってはいけません。」と注意する責任があります。そうしなければ、子どもはそれを受け入れられると思い込んでしまうからです。言葉の使い方が不適切だと周囲から拒絶と批判を招き、自尊心を台無しにしてしまいます。

子どもが汚い言葉や乱暴な言葉遣いをするのには2つの理由がある

1 注目してほしいから

叱ってくれたり、対面してゆっくり話を聞いてくれたりすることは、子どもにとって非常にうれしいことなのです。そのため、言葉遣いに注目して子どもの相手をする、かえって悪い言葉遣いを悪化させることとなります。

2 要求を通したいから

乱暴で威圧的な言葉を使って要求して、相手が折れば、それが成功体験になります。そんなときは相手にしないことです。悪い言葉に対して叱ることは、子どもにとって思うつぼです。そんなときは、距離をおいて、子どもの言葉に関心を示さないことです。

気分はもうクリスマス こども園の玄関ホールにツリーが飾られました。子どもたちはワクワクです。

「ほしいものがあつたら、サンタさんじゃなくて、じいじとばあばに言いなさい」これは名言です。一番可能性があります。これはあくまで小さいうちの話です。中学、高校生にも適用するとんでもないこととなります。

～・～12月11日(月)から12月15日(金)までの予定～・～

- 11日(月) スポセンとの交流(5歳児) 避難訓練 バス乗車指導
- 12日(火) 訓高との交流(5歳児) 発達支援事業 きらりケース会議
- 13日(水) 支援センターとの交流(2歳児) 訓中(3年生)との交流(5歳児:あじさい組)
- 14日(木) 訓中(3年生)との交流(5歳児すずらん組) こども園個別説明会・見学会①
- 15日(金) こども園個別説明会・見学会② たてわり保育・リズム遊び 定例研修会(T)

